

② 主催

福島県教育委員会
各地区における市町村教育委員会連絡協議会

③ 期日, 期間, 会場

	管内	期日	期間	会場
県中地区	安積	5月7日, 5月8日	2日間	金透小
	積瀬	" 8日, " 9日	" "	須賀川二小
	村	" 9日, " 10日	" "	三春小
県南地区	西白河	" 22日, " 23日	" "	白河一小
	東白川	" 23日, " 24日	" "	柵倉小
	石川	" 24日, " 25日	" "	石川小

会津地区	南会津	" 27日, " 28日	" "	田島小, 大宮小
	北会津	" 28日, " 29日	" "	若松二小
	耶麻沼	" 29日, " 30日	" "	喜多方二小
	両	" 31日, " "	" "	坂下小
浜地区	石双	6月4日, 6月5日	" "	平江中
	相	" 5日, " 6日	" "	浪江小
	城	" 6日, " 7日	" "	原町一小
県北地区	信夫	" 11日, " 12日	" "	福島公民館
	伊達	" 12日, " 13日	" "	保原小
	安達	" 13日, " 14日	" "	二本松南小

④ 参加対象

小, 中学校教員, 各会場 100名

⑤ 日程

	9.00	9.20	12.00	1.00	4.00
第1日	開会式	授業充実の着眼と 指導過程の合理化	昼食	指導技術の改善	
第2日		学力診断のための統計法	昼食	環境構成のくふうと 学習態度の導きかた	閉会式

⑥ 講師

本庁 指導室長	栗原 喜 蔵
教育調査研究所長	長谷川 寿 郎
指導主事	星 久 好
"	古 関 富 男
教育調査研究所員	吉 田 良 一
"	六 角 新之函
"	花 沢 繁
"	長谷川 磐 雄
"	山 川 和 二

各出張所指導主事

(2) 教育課程研究集会の開催

本年度からは, 高等学校についても開催し, 7月下旬~8月下旬にかけて実施した。(詳細は第4章第3節参照)

(3) 自主的研究団体の育成

自主的研究団体の活動をいっそう活発にするため, 本年度中に小・中・高等学校別の教育研究会をつくりあげるよう助言するとともに, 助成のための補助金を増額した。小・中・高等学校長会の協力のもとに, 明年度からは, 新組織が結成され, 活発な活動が展開されることが期待される。(第4章第11節参照)

(4) 長期研修生の派遣

主として, 産業教育, 特殊教育関係の教員に対して派遣し, 本年度は34人であった。それぞれ1か月~6か月の間, 大学や専門機関で研修を積んでいた。 (第

4章第2節参照)

(5) 教職員の研究に対する助成

教育および科学の研究を特別深く行なおうとする教員に対して助成した。本年度は15人につき, 各1万円ずつであった。(第4章第2節参照)

(6) その他

実技を伴う教科に対する実技講習会の開催, 各種研究会の効率的開催についての助言等を行なった。

2 「校長・教頭の指導性を高める」について

これは, 校長会や教頭の自主的な会合等で, 大いに努力いただいで来たところである。県教委として実施したおもな事項は次のとおりである。

(1) 校長研修会の開催

11月中旬に, 会津, 県南の2地区において, 各1日間ずつ実施した。参加人員は約500人であった。(第4章第2節参照)

(2) 教頭研修会の開催

11月下旬~12月上旬にかけて, 各出張所管内ごと(16か所)に各1日間ずつ実施した。(第4章第2節参照)

(3) 文部省主催の研修会への派遣

文部省が主催する校長研究協議会へ27人, 校長・指導主事講習会に15人を派遣し, 指導力の向上に資した。(第4章第2節参照)